弟子屈町地域公共交通活性化協議会

平成２０年３月１０日設置
平成２１年３月１３日連携計画策定

概　要

弟子屈町は、摩周湖、屈斜路湖等の景勝地を有し毎年多くの観光客が訪れるが、通過型観光が主流であるとともに、その多くがマイカーを利用するため、排気ガスによる自然環境への負荷が懸念され、また、高齢者等の貴重な交通手段である路線バスも近年利用者数は減少傾向であることから、環境負荷の小さい摩周湖アクセスの確立、生活路線の維持に向けたバス路線の再編･ダイヤの見直しによる利便性の向上･観光交通としての活用、ボランティアガイド体制の充実と組織化等を行い、魅力ある公共交通の創出と利用促進を図ることにより、環境にやさしく、生活交通と観光交通が一体となった地域交通体系の構築を図る。

○環境負荷の小さい摩周湖アクセスの確立（２１年度～）

･公共交通機関で観光できる環境の形成を目指し、ＪＲ釧網本線や町内のバス、レンタサイクルなどの交通手段が１枚のパスで利用可能となる「町内周遊フリーパス」を発行し、ＪＲとバスのスムーズな接続、空港アクセス等の実証実験を行い、車以外の公共交通機関によるアクセスの充実を図る。

○バス路線の再編･ダイヤの見直しによる利便性の向上･観光交通としての活用（２１年度～）

･通学や通院、買物、観光などバスの利用目的に応じた路線の再編やＪＲとの接続を考慮したダイヤの見直しを行いながら地域公共交通と観光交通との融合･連携を目指し、景勝地周遊バスや地域循環バス等による実証運行を行う。

○ボランティアガイド体制の充実と組織化（２１年度～）

･来訪者への地域情報の提供やおもてなしの観点から、総合インフォメーションセンターを駅舎内に設置し、ＪＲにより来訪する観光客へ、町民ボランティアガイドがバスの接続案内や着地型観光の情報発信を行うための体制の充実と組織化を行い、地域交通の魅力向上と利用促進を図る。